

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「ニホンノホマレ」

テーマ：「日本人なのにハンパない美少女」

キャラクター

30

ストーリー

30

テーマ(設定)

35

文章力

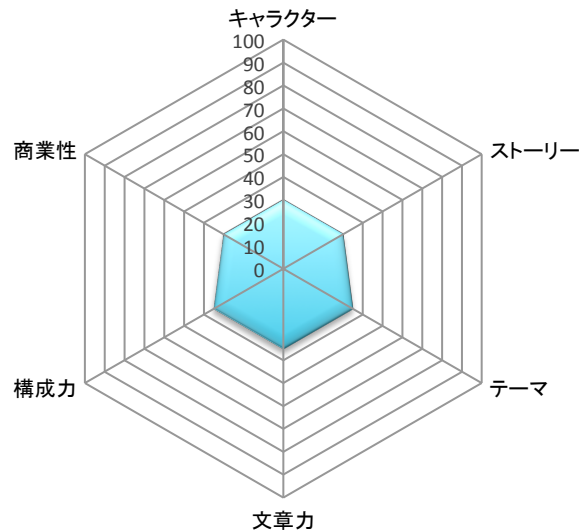
35

構成力

35

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・サッカーを面白おかしくパロディ化した架空競技で、軽くスラスラと読んでいけるという点がこの作品の最大の魅力である。しかし裏を返すとそれ以外の魅力がなく、特に人間同士の会話 等がほとんど無い点については小説としてはかなりの痛手。原稿用紙換算で29枚とまだ余裕があるため、パイロット同士の会話等があっても面白かったのかもしれない。

・小説ではなくロボット系アニメの脚本のような内容になってしまっている。もう少し人間のドラマを書き加えることで、小説らしい面白さとロボット系アニメの脚本的な面白さが両立できたのではないかと感じる。例えば、日本のパイロットが美しいアジアンビューティ女神であることを終わりでではなくわりと最初の方に書いてしまい、なぜこんな美少女が日本代表として戦っているのかを梅木が試合中に解説させる、など。そうすればカッコいい美少女パイロットの戦闘シーンで盛り上がるだけに留まらず、何故美少女が戦っているのかという人間のドラマを加わり、より一層戦闘シーンが深いものになると思われる。(あくまで改善の一例としてとらえて下さい)

・サッカーネタで一貫させたいなら野球ネタは一貫性をぐらつかせるため入れない無難であると思われる。ひらすらサッカーネタが続いて最後に「見事な逆転ホームランだった!」は若干不自然感が否めない。

合計加点ポイント 0

総得点: 195 / 600

B方式総合得点: 6338 点